女川町ボランティアセンターだより 6月号

※ボランティアについての各種お問い合わせはこちらへ ☎0225-53-4333（担当：矢竹拓／木村銀次郎）

大学生に車いすのメンテナンス方法を教えていただきました

実際の修理にたずさわりました

昨年に引き続き，５月３日（日）福祉新聞社の佐々木俊一さんの引率で，神奈川工科大学と新潟医療福祉大学の学生ボランティアとＯＢの総勢１５名で，地域福祉センター内の車いすメンテナンスに来ていただいた際，町内でも車いすのメンテナンスが出来る体制づくりを目指した技術向上研修として，初めて女川町民のボランティア２名とおもちゃドクターのメンバーの１名に参加していただきました。

学生からマンツーマンで教わりながらタイヤの交換やブレーキの調整方法を体験いただき，合間には学生たちと会話しながら，お互いに有意義な交流の場にもなっていました。

身近な福祉用具ではありますが，車いすの使い方・操作方法を知らない方も多く，車いす利用者が困っているときなど，いざという時に手助けできるように，また車いす利用者の環境を理解するためにも，車いす自体を体験する福祉講座の必要性にも気づかされる貴重な機会でした。

おもちゃドクターが活動を再開しました！

震災前の活動を思い出しました

４月２１日（火）小学校「みんなの部屋」をお借りして，子どもたちの壊れたおもちゃを修理するおもちゃドクターのボランティア団体「おもちゃ病院うみねこ」が震災後初の会合を行い，集まった４人のメンバーで今後の活動について話し合われ，５月２１日（木）子育て支援センターにて第一回目の診療を行うこととなりました。

実際に依頼がどれぐらいあるのかはやってみないとわかりませんが，修理持ち込みの有無に関わらず，子どもたちにとって，壊れたおもちゃを診察してもらえる窓口が町内にあることの意義は大きく，これもひとつの住みやすいまちづくりの取り組みと言えます。

直せるか直せないかは診察の上での判断となりますので，お気軽にご相談下さい。また手先が器用な方，修理が得意な方などおもちゃドクターのメンバーも随時募集しています。

第二回おもちゃ診療日：６月２４日（水曜日）午前１０時～１２時（会場：女川町子育て支援センター）

３月２８日（土）
女川駅桜植樹準備作業

ボランティアセンターの出前ボランティア講座

ボランティアセンターでは平成２６年度の活動実績の報告を中心にした出前ボランティア講座を行っております。

女川町民のボランティアによるボランティア活動が，様々な形で行われている現場の写真を中心に，その意義と実情を皆様にわかりやすく丁寧に解説いたしますので，地域のお茶会のイベントや生涯学習の一環としてぜひ気軽にご活用下さい。

講座を受けたあとは自分でもボランティアしてみたくなるかもしれません。

おはなし会おひさまメンバー募集中

おはなし会「おひさま」では，女川小学校で子どもたちに絵本の読み聞かせをして下さるボランティアの方を随時募集しています。

読み聞かせは月に１～２回ほど，授業が始まる前の８時２０分～３５分までの１５分間に行っています。

月１～２回のペースで，ご都合に合わせて交代で，あらかじめご都合がつく日を選んで入っていただきますので，無理なく参加でき，クラス毎に少人数の中で行うため，初めての方でも安心です。

時間に余裕がなくて…という方や，この一冊なら読めるかも…とお考えの方，年一回だけのスペシャル会員も募集していますので，お気軽にお問合せ下さい。

講師ボランティア募集中

地域のお茶会や生涯学習の取り組みなどにボランティアの派遣や人材紹介をしておりますが，さらなる充実化を図るために，随時講師ボランティアを募集しています。みなさまの得意分野で女川町の町づくり・人づくりにご協力お願いします。

【例】折り紙・手品・コーヒー・茶道・書道・絵画・昔あそび・日曜大工・手芸・パソコン・文化教養・着付け・レクリエーション・囲碁・将棋・民謡，等

ボランティアセンターにご相談下さい

ちょっと手助けしてほしい，生活上の困りごとなどボランティアの派遣で力になれるかもしれません。お茶会を盛り上げる芸人の派遣に豊富な人材をそろえており，地区・団体・サークル向けの機材の貸出しも行っています。サークルの立ち上げや当事者の自助グループの立ち上げの相談実績もありますので，まずはお気軽にご相談を！